

Q：のり付き付箋を図書館資料に使ってはいけないと聞いたが本当か？

A：はい。図書館の資料への使用は控えてください。

ポスト・イット[®]に代表される「のり付き付箋」は貼って剥がせる便利な商品ですが、短期間であっても、貼った箇所に糊が残留します（写真1）。この残留した糊でページ同士がくっついてしまう場合がありますし、後々、紙に悪影響を及ぼす可能性があります。また、のり付き付箋をはがそうとして、紙の表面を剥ぎ取ってしまう事故もみかけます（写真2）。図書館の資料は皆さんの共有財産です。図書館の資料には、のり付き付箋ではなく、中性紙のしおりを利用してください。

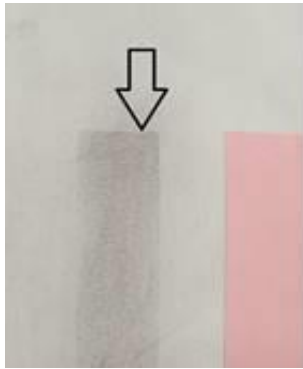


写真1

矢印部分はのり付き付箋を貼って剥がした部分。触った感じでは、全くべたつきを感じないが、鉛筆の芯の粉をふりかけると、接着剤が残留していることがわかる。

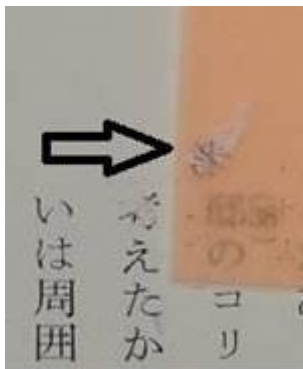


写真2

紙の表面の文字部分を剥ぎ取ってしまった例